



平成30年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年5月11日

上場会社名 株式会社 石井工作研究所 上場取引所 東
 コード番号 6314 URL http://www.i-kk.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 一彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 時枝 典生 TEL 097-544-1001
 四半期報告書提出予定日 平成30年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第1四半期の業績（平成30年1月1日～平成30年3月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|--------------|-----|------|------|---|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年12月期第1四半期 | 903 | 17.5 | 76 | — | 73 | 167.1 | 67 | 223.5 |
| 29年12月期第1四半期 | 768 | — | 0 | — | 27 | — | 20 | — |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|--------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年12月期第1四半期 | 8.64 | — |
| 29年12月期第1四半期 | 2.67 | — |

(注) 当社は、平成28年12月期より決算期（事業年度の末日）を12月31日に変更いたしました。そのため、平成29年12月期第1四半期（平成29年1月1日から平成29年3月31日）と、比較対象になる平成28年12月期第1四半期（平成28年4月1日から平成28年6月30日）の期間が異なるため、対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|--------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 30年12月期第1四半期 | 7,546 | 5,337 | 70.7 | 686.85 |
| 29年12月期 | 7,245 | 5,313 | 73.3 | 683.76 |

(参考) 自己資本 30年12月期第1四半期 5,337百万円 29年12月期 5,313百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年12月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 30年12月期 | — | — | — | — | — |
| 30年12月期（予想） | — | 0.00 | — | — | — |

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2. 当社とモバイルクリエイティブ株式会社は、平成30年3月開催の両社の定時株主総会において、平成30年7月2日に共同株式移転により共同持株会社を設立することが承認されました。
 これに伴い、当社は平成30年6月27日に東京証券取引所への上場が廃止される予定ですので、期末の配当予想については記載しておりません。

3. 平成30年12月期の業績予想（平成30年1月1日～平成30年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|-------|------|------|-------|------|------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期（累計） | 1,944 | 24.9 | 73 | 160.7 | 77 | 32.8 | 65 | 32.7 | 8.36 |
| 通期 | 4,000 | 9.4 | 200 | 14.9 | 209 | △2.3 | 177 | △25.3 | 22.77 |

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 2. 当社とモバイルクリエイティブ株式会社は、平成30年7月2日に株式移転による共同持株会社を設立する予定です。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|-----------|------------|-----------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 30年12月期1Q | 7,800,000株 | 29年12月期 | 7,800,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 30年12月期1Q | 28,338株 | 29年12月期 | 28,258株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 30年12月期1Q | 7,771,702株 | 29年12月期1Q | 7,771,870株 |

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提条件に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期損益計算書 | 4 |
| 第1四半期累計期間 | 4 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 5 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 5 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 5 |
| (セグメント情報等) | 5 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における海外経済は、米国やアジア新興国を中心とした景気の持ち直しから底堅い成長が続いておりますが、米国の今後の政権運営や金融資本市場の変動などの影響により、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

国内経済におきましては、企業収益の改善を背景とした設備投資の回復や人手不足が続くことで雇用・所得環境の改善などから景気の回復基調が持続しております。

このような経済状況のなか、当社はI o T関連の普及や自動車の電動化・高機能化による電子部品需要の拡大により、半導体関連装置とともに自動車設備関連装置の受注が増大したことを受け、最新鋭の設備導入及び工程管理・原価管理の徹底による生産体制の強化を図ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高903百万円（前年同四半期比17.5%増）となり、営業利益76百万円（前年同四半期は0百万円の営業利益）、経常利益73百万円（前年同四半期比167.1%増）、四半期純利益67百万円（前年同四半期比223.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①半導体・自動車関連事業

半導体・自動車関連事業は、車載用製造装置を中心に受注が増加した結果、全売上高の97.6%を占める半導体・自動車関連事業の売上高は881百万円（前年同四半期比15.2%増）、セグメント利益は172百万円（前年同四半期比82.8%増）となりました。

②不動産・建築関連事業

不動産・建築関連事業の売上高は21百万円（前年同四半期比512.8%増）、セグメント利益は8百万円（前年同四半期は8百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は3,873百万円となり、前事業年度末に比べ363百万円増加いたしました。これは主に、電子記録債権が55百万円及びその他流動資産が44百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が263百万円及び仕掛品が218百万円増加したことによるものであります。固定資産は3,673百万円となり、前事業年度末に比べ62百万円減少いたしました。これは主に、建物が減価償却費計上により11百万円及び投資その他の資産が50百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は7,546百万円となり、前事業年度末に比べ300百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は1,779百万円となり、前事業年度末に比べ301百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が103百万円及び短期借入金が200百万円増加したことによるものであります。固定負債は428百万円となり、前事業年度末に比べ24百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は2,208百万円となり、前事業年度末に比べ276百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は5,337百万円となり、前事業年度末に比べ24百万円増加いたしました。これは主に、その他有価証券評価差額金が43百万円減少したものの、四半期純利益の計上により利益剰余金が67百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は70.7%（前事業年度末は73.3%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年12月期第2四半期累計期間（平成30年1月1日～平成30年6月30日）及び平成30年12月期（平成30年1月1日～平成30年12月31日）の業績予想については、平成30年2月13日付当社「平成29年12月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」にて発表いたしました金額に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成29年12月31日) | 当第1四半期会計期間 (平成30年3月31日) |
|---------------|------------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 448,604 | 422,140 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,892,719 | 2,156,399 |
| 電子記録債権 | 183,836 | 128,560 |
| 商品及び製品 | 52,655 | 50,687 |
| 仕掛品 | 715,434 | 934,195 |
| 原材料及び貯蔵品 | 89,946 | 97,470 |
| その他 | 145,359 | 100,730 |
| 貸倒引当金 | △18,299 | △16,798 |
| 流動資産合計 | 3,510,255 | 3,873,385 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | 899,862 | 888,747 |
| 土地 | 1,775,037 | 1,775,037 |
| その他(純額) | 223,806 | 227,749 |
| 有形固定資産合計 | 2,898,706 | 2,891,534 |
| 無形固定資産 | 106,952 | 102,652 |
| 投資その他の資産 | 729,938 | 679,044 |
| 固定資産合計 | 3,735,596 | 3,673,231 |
| 資産合計 | 7,245,852 | 7,546,617 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 454,018 | 557,851 |
| 電子記録債務 | 464,559 | 442,770 |
| 短期借入金 | 300,000 | 500,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 30,000 | 30,000 |
| 未払法人税等 | 18,030 | 26,440 |
| 引当金 | 25,400 | 80,220 |
| その他 | 186,270 | 142,551 |
| 流動負債合計 | 1,478,278 | 1,779,834 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 250,000 | 242,500 |
| 役員退職慰労引当金 | 14,407 | 16,233 |
| その他 | 189,183 | 170,068 |
| 固定負債合計 | 453,590 | 428,801 |
| 負債合計 | 1,931,869 | 2,208,635 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,186,300 | 1,186,300 |
| 資本剰余金 | 2,757,259 | 2,757,259 |
| 利益剰余金 | 1,244,209 | 1,311,319 |
| 自己株式 | △11,798 | △11,824 |
| 株主資本合計 | 5,175,970 | 5,243,053 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 138,012 | 94,928 |
| 評価・換算差額等合計 | 138,012 | 94,928 |
| 純資産合計 | 5,313,982 | 5,337,982 |
| 負債純資産合計 | 7,245,852 | 7,546,617 |

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

| | 前第1四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日) | 当第1四半期累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 768,290 | 903,100 |
| 売上原価 | 622,072 | 685,034 |
| 売上総利益 | 146,218 | 218,066 |
| 販売費及び一般管理費 | 145,669 | 141,628 |
| 営業利益 | 548 | 76,437 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 0 | 1 |
| 補助金収入 | 30,000 | — |
| その他 | 2,736 | 1,181 |
| 営業外収益合計 | 32,736 | 1,182 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 737 | 1,654 |
| 固定資産除却損 | 3,786 | — |
| 為替差損 | 1,238 | 2,448 |
| その他 | — | 1 |
| 営業外費用合計 | 5,762 | 4,104 |
| 経常利益 | 27,522 | 73,516 |
| 税引前四半期純利益 | 27,522 | 73,516 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 6,090 | 19,161 |
| 法人税等調整額 | 684 | △12,754 |
| 法人税等合計 | 6,775 | 6,407 |
| 四半期純利益 | 20,747 | 67,109 |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自平成29年1月1日至平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | 合計 |
|-----------------------|-------------|------------|---------|
| | 半導体・自動車関連事業 | 不動産・建築関連事業 | |
| 売上高 | | | |
| 外部顧客への売上高 | 764,725 | 3,565 | 768,290 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — |
| 計 | 764,725 | 3,565 | 768,290 |
| セグメント利益又は損失(△) | 94,591 | △8,948 | 85,642 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利益 | 金額 |
|---------------|---------|
| 報告セグメント計 | 85,642 |
| 全社費用(注) | △85,094 |
| 四半期損益計算書の営業利益 | 548 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自平成30年1月1日至平成30年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | 合計 |
|-----------------------|-------------|------------|---------|
| | 半導体・自動車関連事業 | 不動産・建築関連事業 | |
| 売上高 | | | |
| 外部顧客への売上高 | 881,253 | 21,846 | 903,100 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — |
| 計 | 881,253 | 21,846 | 903,100 |
| セグメント利益 | 172,931 | 8,690 | 181,622 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

| 利益 | 金額 |
|---------------|----------|
| 報告セグメント計 | 181,622 |
| 全社費用（注） | △105,184 |
| 四半期損益計算書の営業利益 | 76,437 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。